

事業コード	H21-農-継-6		区 分	国庫補助 県単独
事業名	林道事業		部局課室名	農林水産部 水と緑の森づくり課
事業種別	流域育成林整備事業		班 名	治山・林道班 (tel) 018-860-1945
路線名等	五秋蛇喰線		担当課長名	池田光晴
箇所名	南秋田郡井川町井内		担当者名	加賀貞寿
総合計画との関連	政策コード	08	政策名	自給力、需要創造力を高めよう農林水産業
	施策コード	05	施策名	森林整備から木材加工・販売までの一貫した体制の構築
	指標コード	02	施策目標(指標)名	林道・基幹作業道密度(累計)

1. 事業の概要

事業期間	H03 ~ H22 (20年)		総事業費	19.0億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	森林管理道 幅員4.0m、延長13,000m、利用区域面積944ha						
事業の立案に至る背景	<p>本林道は、秋田市とその北にある五城目町を結ぶ広域基幹林道五秋線に対し、五城目町と井川町を東西に横断的骨格路線をなし、森林の適切な維持管理と林業生産活動促進のため、開設が要望されていた。</p> <p>また、井川町井内・大台地区と五城目町蛇喰・北又地区を結ぶ路線として、非常災害時のバイパス機能を果たすことなどが考えられ、森林所有者はもとより、市町村及び地域住民からも、開設の要望が出されていた。</p>						
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備実施のための基盤整備 ・森林施業の集約化や機械化による効率的な森林施業の実施 ・林業生産コストの低減 ・集落間の連絡道路として、また、緊急時の迂回路としての役割 						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	1,500,000	1,900,000	400,000			
	経費内訳	工事費	1,448,800	1,835,200	386,400		
		用補費	0	0	0		
		その他	51,200	64,800	13,600		
	財源内訳	国庫補助	750,000	950,000	200,000		
		県債	338,000	428,000	90,000		
その他		375,000	475,000	100,000			
一般財源		37,000	47,000	10,000			
事業内容	幅員4.0m 延長13,000m	幅員4.0m 延長13,000m			既設林道や作業道との接続による路網ネットワークの構築を目指しているが、工事区間に硬質な岩が出現し、増となった。		
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施工済延長9,919m、全体計画延長の76% ・実施事業費1,611,152千円 全体事業費の 85% *H20年度末現在 						
事業推進上の課題	・ルート・線形の見直し・検討等により、一層のコストの縮減を図り、進捗状況の向上が必要。						
関連する計画等	・「米代川地域森林計画」に林道整備路線として当該路線が計画されている。						
情勢の変化及び長期継続の理由	・京都議定書の発効に伴い、「地球温暖化防止大綱」及び「地球温暖化防止森林吸収源10カ年計画」に基づき、適切な森林整備を着実に進める必要が生じており、森林施業を実施するための路網整備が求められている。						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	林道・基幹作業道密度(累計)					
	指標式	林道・基幹作業道延長/民有林面積					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	6.5 m/ha		データ等の出典	林道事業実績報告		
	実績値 b	6.4 m/ha					
達成率 b/a	98.5 %		把握の時期	平成21年4月			

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	無し			
	指摘事項への対応			
無し				

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	あきた21総合計画での林道・基幹作業道(累計)では効果達成率が98.5%となっている。 計画路線の利用区域内の森林は人工林率69%であり、米代川流域の平均人工林64%率を上回っており、適正な森林整備が必要となっている。 京都議定書の発効に伴い、温暖化対策に貢献する森林整備の重要性が増大している。	11点
緊 急 性	利用区域の4齢級以上の蓄積が99%となっており、資源の成熟度が高いので、早急に間伐、収入間伐実施の必要がある。 森林整備事業と連携しており、引き続き間伐を推進していく必要がある。	15点
有 効 性	のり面保護のため、間伐材をのり面下部に敷き並べるユニット丸太工法を実施する等積極的な利用により、森林資源の循環利用に貢献できる。 利用区域森林面積のうち(4~9齢級)387haに対して、森林整備面積は327ha(84%)となっている。 集落間の連絡道路として、緊急時の迂回路として利用できる。	12点
効 率 性	事業の費用便益比は1.89である。 ・総費用2,861,408円 ・総便益5,394,209円 急峻地を通過するルートを既設の林道・作業道に連絡・利用し、線形の変更により、コスト縮減を図る。	24点
熟 度	施設の管理体制及び維持管理に十分配慮されている。 全体計画や詳細設計及び工事実施において、環境保全への配慮がなされている。	19点
判 定	ランク () 間伐対象森林(4~9齢級)の蓄積が人工林の61%に達しており、これらの森林整備にあたり、林道の開設が効果的であることから、引き続き実施すべきである。	81点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度は高く、事業は継続して実施すべきと考える。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

森林整備の促進と森林施業の効率化を図る基盤として、重要な役割を担っており、計画どおりの完成を目指して事業を実施する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 林道事業

事業コード(H21-農-継-6)
箇所名 (南秋田郡井川町井内)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	上位計画への貢献度					
	あきた21総合計画	事業の効果達成率が100%以上(事業評価)	5	3		
		事業の効果達成率が80%~100%未満(事業評価)	3			
		事業の効果達成率が80%未満(事業評価)	1			
	資源の成熟度					
	人工林率	人工林率:流域平均値以上	5	5		
	人工林率:流域平均値以下	3				
社会情勢における必要性						
社会経済情勢変化による需要変化	需要は増大している	5	3			
	需要に特に変化はない	3				
	需要は低下している	1				
	計		15	11		
緊急性	森林整備状況					
	要整備森林の占有度	利用区域の4齢級以上の蓄積が70%以上	10	10		
		利用区域の4齢級以上の蓄積が70%未満	5			
	他事業との関連					
他事業との連携	他事業と連携しており、緊急性が高い	5	5			
	他事業と連携が無く、緊急性も低い	3				
	計		15	15		
有効性	開設による有効性					
	間伐材等の活用	活用可能な全てに活用	5	5		
		一部使用	3			
		使用なし、または、検討中	1			
	森林整備計画	森林整備計画に対する達成率100%以上	10	7		
	森林整備計画に対する達成率80%~100%未満	7				
	森林整備計画に対する達成率50%~80%未満	5				
	森林整備計画に対する達成率50%未満	1				
	計		15	12		
効率性	事業の投資効果					
	費用対効果指数(B/C)	B/C=1.45以上	10	10		
		B/C=1.0以上1.45未満	5			
		B/C=1.0未満	0			
	コスト縮減の検討					
	コスト縮減計画	実施している	10	10		
		今後実施する予定で検討中	5			
		実施していない	0			
計画の効率性						
設定工期	設定工期内に余裕を持って完成が見込まれる(80%)	5	3			
	設定工期に完成が見込まれる	3				
	設定工期を更に延長する必要がある	1				
事業費の増減	当初計画事業費以内	5	3			
	30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	1				
	計		30	24		
熟度	地元との合意形成の状況					
	事業関係者、関係機関との協議・調整	基本事項が確認済	5	5		
		協議中であるが、特段の問題はない	3			
		今後協議する予定	1			
	施設の管理体制	維持管理費を毎年予算化し、適切に管理している	5	3		
		維持管理費を必要な年のみ予算化し、適切に管理している	3			
		維持管理費を予算化していない	0			
	計画の進捗状況					
	事業の進捗状況	計画より進捗している:進捗率100%以上	5	3		
		おおむね計画どおり進捗している:80%~100%未満	3			
	計画より遅れている:80%未満	1				
今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5			
	課題はあるが、当面進捗に影響がない	3				
	課題解決が困難である	0				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5			
	配慮について検討している	3				
	特に配慮はない	0				
	計		25	19		
合計			100	81		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		